

【参考資料12】
敷地内ガス管の補助対象経費算出方法

1. 考え方

1. ガス配管敷設工事で対象設備と対象外設備が混在する場合、ガス管断面積比按分にて算出します。
見積もりパターンにより算出方法が異なりますので、申請物件の見積書方式をご確認ください。
2. 見積方式の種類により以下の2パターンの計算シートを用意してありますので、適応する計算シートを
使用して経費を算出します（見積方式の確認は下図計算例参照）。
(1) 区分ごとに積算されている場合 → 「区分見積」計算シートを使用
(2) 区分がなく全体で積算されている場合 → 「一括見積」計算シートを使用
3. 当センターホームページで公開されている「敷地内ガス管の補助対象経費算定シート」ファイルの【記入例】
を参考に、該当する見積シートへ入力して補助対象経費を算出してください。
(**お願い**)入力時には計算結果が見積書の配管延長数、金額が一致することを確認願います。

2. 算出手順

- (1) ガス事業者様にてガス配管工事見積と同時に「**ガス配管アイソメ図**」を作成
(2) アイソメ図から末端から付番
- (2) 当センターホームページ公開の「**敷地内ガス管の補助対象経費算定シート**」へ入力
(算定シートは見積方法別に「**区間見積パターン**」「**一括見積パターン**」の2種類あります)

見積方法別「敷地内ガス管の補助対象経費算定シート」事例

「算定シート」は見積方法により次のいずれかになります。（計算結果に若干の差異がでることがあります）

選定シート入力は「ガス配管アイソメ図」「ガス配管系統図」の数値がもとになります。

（「ガス配管アイソメ図」「ガス配管系統図」の事例は添付資料をご覧ください）

敷地内ガス管の補助対象経費算定（一括見積）

		年度				敷地内ガス管敷設費（円）		1,200,000				
		R 4										
区間	適用	配管a	配管b	管種	口径(A)	延長(m)	口径×延長	割合	区間割振費用(円)	実断面積(cm2)	対象断面積(cm2)	補助対象経費(円)
1	専用			G	25	3.0	75.0	8.2508%	99,009.6	6.0	5.9800	99,009.6
2	専用			G	25	2.0	50.0	5.5006%	66,007.2	6.0	5.9800	66,007.2
3	専用			G	25	3.0	75.0	8.2508%	99,009.6	6.0	5.9800	99,009.6
4	専用			G	32	2.0	64.0	7.0407%	84,488.4	10.0	10.0000	84,488.4
5	対象外			G	25	5.0	125.0	13.7514%	165,016.8	6.0	0.0000	0.0
6	共用	4	5	G	40	3.0	120.0	13.2013%	158,415.6	13.6	8.5106	99,133.2
7	共用連続	4	5	G	50	8.0	400.0	44.0044%	528,052.8	22.0	13.7672	330,445.8
8												
合計							909.0	100.0000%	1,200,000.0		補助金対象額	778,093.8

補助対象経費（円） 778,093

敷地内ガス管の補助対象経費算定（区間見積）

年度 R 4		敷地内ガス管敷設費（円）		1,200,000								
区間	適用	配管a	配管b	管種	口径(A)	延長(m)			区間割振費用(円)	実断面積(cm2)	対象断面積(cm2)	補助対象経費(円)
1	専用			G	25	3.0			100,000.0	6.0	5.9800	100,000.0
2	専用			G	25	2.0			100,000.0	6.0	5.9800	100,000.0
3	専用			G	25	3.0			150,000.0	6.0	5.9800	150,000.0
4	専用			G	32	2.0			200,000.0	10.0	10.0000	200,000.0
5	対象外			G	25	5.0			285,500.0	6.0	0.0000	0.0
6	共用	4	5	G	40	3.0			174,500.0	13.6	8.5106	109,198.5
7	共用連続	4	5	G	50	8.0			190,000.0	22.0	13.7672	118,898.5
合計									1,200,000.0		補助金対象額	778,097.0

補助対象経費（円） 778,097